



Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数84名

今週のお祝い

本人誕生祝: 2日 大濱宏一君 3日 小椋理佳 君
 11日 長谷川進君、川端恵美子君 18日 岩崎浩君
 19日 安達充君 24日 小田浩一君

会長挨拶

今日は二つ程うれしいことがあります。まず一つ目は増強委員会の方に一生懸命働いていただきまして、豊嶋会員が今日から再入会でございます。二つ目はips細胞研究で京都大学山中教授のノーベル生理学医学賞受賞でございます。今の日本に希望を与えるもので、やはり日本は技術立国、研究の国であると感じたものです。

最近ハマっているゴルフでの話ですが、阿南南RCを迎えての親睦ゴルフで、あるホールでドライバーショットが隣のコースに出てしまいました。斜面と松の木でトラブったのですが、キャディさんの指示で隣のコースを進み、なんとか最後は無難にまとめることができました。キャディさんのコース把握と指導に感銘を受けました。

なぜ、このような話をするかと言うと、先週の例会の後、元会長会を開かせていただきました。小谷年度が3ヶ月経過しまして、これからロータリーをどう運営していくのか、配慮の足らないところはないのか、まさにプロとしてのキャディさんの目で、いろいろみていただいてお話を聞かせていただきました。

これからどう運営していったらよいかいろいろ考えて決断する際、何を規範にしたらよいかを考えていると、その規範が目の中にある事に気が付きました。何かと言いますと四つのテストです。その規範をよりどころにしていれば、物事の判断を間違えない。簡単な文言ですけれど、すべてを包括するようなロータリーのものさしではないかと思ったところです。



手嶋会員再入会



鳥大医学部4年生 2名来訪

幹事報告

- 1.鳥大医学部4年生 吉本貴則さん、小倉有李子さん 来訪
- 2.阿南南RCより礼状、写真ご惠贈賜る
- 3.2013年6月23日~26日 国際大会(ポルトガル リスボン)参加推進のお願い
- 4.本日第2回家庭集会 19:00~うなばら荘
- 5.例会変更のお知らせ
米子中央RC10/18(木)例会振替 ビジター受付あり
鳥取西 10/19(金)移動夜間例会 //

今後の行事予定

- 10/17 職場訪問 (八幡物産(株))
- 10/21 大山秋の一斉清掃
- 10/24 クラブ協議会
(ホテルサンルート米子 3Fあやめなでしこ)
- 10/26 地区大会記念チャリティゴルフ大会
(倉敷カントリー倶楽部)
- 10/28 地区大会 (倉敷市民会館)
- 10/31 休会 (定款第6条)



Peace Through service

奉仕を通じて平和を



10/10 第2回家庭集会 松茸づくし うなばら荘にて

< プログラム >

鳥取環境大学の紹介

鳥取環境大学 西部サテライトキャンパス
所長 森中 栄 氏



鳥取環境大学は公立化に向けて協議がなされた中で、本大学は鳥取の学校であるとのことから、西部になんらかの拠点を作ろうとの思いで、今年5月に西部サテライトキャンパスを開設しました。

本学は、鳥取県と鳥取市が50%ずつ出資した、県立でも私立でもなく、全国で初めての公立大学法人です。

本学は平成13年から学校法人として11年間運営してきましたが、開学4年目以降、定員割れが続き、近年、学内外の有識者を交えて検討し学内改革も試みてきましたが、思うように進まず、県議会・市議会の審議を経て、一昨年に公立化の方向で検討され今日があります。また、改編するにあたって、環境学部と、山陰唯一の経済学部を新設しました。

本学の基本理念は、『人と社会と自然との共生』の実現に貢献する有為な人材の育成と創造的な学術研究を行うことであり、人と自然と社会が共存できる仕組みを研究していこうということです。

本学の理事長兼学長である古澤巖が、いつも言っているのですが、現在の地球温暖化等は、産業改革を経て人の生活が豊かになり、化石燃料等を使用することによるつけが回ってきたものと思われるが、環境を保全するにあたって、前の時代に戻るのではなく、今の社会と環境保全とのバランスを考えていける環境の研究所を作っていかなければいけないとのことから、本学の学部構成等があります。

環境学部では、教職課程を設けて、基準は厳しいが、小・中学校の理科の教員になれるようにしてあります。

環境学部の特色として、循環型社会の実現で、廃棄物マネジメントの総合学習・バイオマス利活用の研究等があります。

また、経営学部の学びの特色として、海外で活躍できる人材の育成があり、環日本海経済・北東アジアに特化していることがあげられます。教育課程の第二外国語では、韓国語・中国語・ロシア語の中から一科目選択必修としています。

また、学部以外に二つの研究所があり、生徒出身地は北海道から沖縄まであり、今年300人入学しましたが、75%は県外です。

最近のトピックスは、日本公認会計士協会と包括協定を結び、全国で初めてのケースです。

最後に、西部サテライトキャンパスは、今後、近くにアルファビル等が出来、人が集まる拠点となりますので、一緒になって情報発信等、にぎわいを創出できればと思っています。

10/24 プログラム

「韓国さらに世界を結ぶ 米子ーソウル便」
アジアナ航空(株)山陰支店
支店長 太田俊治 氏